



令和3年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年6月30日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7485 URL <https://www.okaya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡谷 篤一
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部企画部長 (氏名) 中島 孝次 (TEL) 052-204-8133
 四半期報告書提出予定日 令和2年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年2月期第1四半期の連結業績(令和2年3月1日~令和2年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年2月期第1四半期	193,565	△17.4	2,786	△49.8	4,203	△37.6	2,752	△43.8
2年2月期第1四半期	234,260	1.3	5,547	2.9	6,732	4.7	4,899	11.1

(注) 包括利益 3年2月期第1四半期 △1,217百万円(—%) 2年2月期第1四半期 △2,918百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年2月期第1四半期	285.97	—
2年2月期第1四半期	509.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年2月期第1四半期	471,879	216,869	43.9
2年2月期	494,089	219,451	42.4

(参考) 自己資本 3年2月期第1四半期 207,105百万円 2年2月期 209,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年2月期	—	110.00	—	120.00	230.00
3年2月期	—	—	—	—	—
3年2月期(予想)	—	110.00	—	—	—

(注) 令和3年2月期期末配当につきましては現時点では未定です。

3. 令和3年2月期の連結業績予想(令和2年3月1日~令和3年2月28日)

令和3年2月期の連結業績予想につきましては、現時点では未定です。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

3年2月期1Q	9,720,000株	2年2月期	9,720,000株
3年2月期1Q	94,098株	2年2月期	94,096株
3年2月期1Q	9,625,903株	2年2月期1Q	9,626,041株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済及び日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、景気が急速に悪化しました。

当社も当第1四半期連結累計期間における売上高は、1,935億65百万円で前年同期比17.4%の大幅な減収となりました。

損益につきましては、売上総利益が124億45百万円（前年同期比22.6%減）、営業利益が27億86百万円（前年同期比49.8%減）、経常利益が42億3百万円（前年同期比37.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億52百万円（前年同期比43.8%減）となりました。

これを事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(鉄鋼)

鉄鋼部門は、鋼材需要の落ち込みにより、建材関連や製造業向けの販売が減少しました。

特殊鋼部門は、自動車・産機・工作機械等の減産の影響を受け、国内外で販売が大幅に減少しました。

海外は、一部輸出の増加はあったものの、米国及びアジア向けを中心に減少しました。

鉄鋼セグメントの売上高は、836億83百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

(情報・電機)

非鉄金属部門は、銅・アルミの市況下落及び自動車部品関連が低調であったため、販売が減少しました。

エレクトロニクス部門は、IT及び医療機器関連が増加しましたが、FA・設備機器及び車載部品が減少しました。

情報・電機セグメントの売上高は、392億61百万円（前年同期比16.2%減）となりました。

(産業資材)

化成品部門は、国内外での自動車関連及び国内の住設向けが減少しました。

メカトロ部門は、一部輸出が増加しましたが、国内の部品・工具及び航空機向け部材が減少しました。

産業資材セグメントの売上高は、578億63百万円（前年同期比24.3%減）となりました。

(生活産業)

配管建設部門は、エネルギー関連及び配管機材類がともに減少しました。

食品部門は、小売向け鶏肉加工品が増加しましたが、水産物及び鶏肉の輸入取引が減少しました。

生活産業セグメントの売上高は、127億57百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,718億79百万円となり、売上債権の減少などにより前連結会計年度末に比べて222億9百万円減少しました。

負債は2,550億10百万円となり、仕入債務の減少などにより前連結会計年度末に比べて196億27百万円減少しました。

純資産は2,168億69百万円となり、その他有価証券評価差額金の減少などにより前連結会計年度末に比べて25億81百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年2月期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が当社グループの事業領域全般に及んでおり、現時点で合理的な算定が困難なため、状況が収束し業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,660	14,784
受取手形及び売掛金	188,755	159,987
電子記録債権	35,010	34,290
商品及び製品	57,657	64,201
仕掛品	4,786	5,437
原材料及び貯蔵品	1,421	1,538
その他	10,112	10,438
貸倒引当金	△642	△596
流動資産合計	311,762	290,082
固定資産		
有形固定資産	39,868	42,942
無形固定資産	1,577	1,816
投資その他の資産		
投資有価証券	117,724	113,702
その他	23,437	23,619
貸倒引当金	△281	△283
投資その他の資産合計	140,880	137,038
固定資産合計	182,326	181,797
資産合計	494,089	471,879

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,160	87,747
電子記録債務	24,466	22,908
短期借入金	75,979	76,367
未払法人税等	2,676	1,263
賞与引当金	1,355	2,298
その他	11,712	12,332
流動負債合計	221,350	202,918
固定負債		
長期借入金	20,966	20,859
繰延税金負債	25,741	24,648
役員退職慰労引当金	911	904
退職給付に係る負債	2,209	2,239
その他	3,457	3,439
固定負債合計	53,287	52,091
負債合計	274,637	255,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	142,646	144,243
自己株式	△467	△467
株主資本合計	159,105	160,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,068	45,465
繰延ヘッジ損益	66	43
為替換算調整勘定	142	△1,021
退職給付に係る調整累計額	2,053	1,914
その他の包括利益累計額合計	50,330	46,402
非支配株主持分	10,015	9,764
純資産合計	219,451	216,869
負債純資産合計	494,089	471,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自令和2年3月1日 至令和2年5月31日)
売上高	234,260	193,565
売上原価	218,180	181,119
売上総利益	16,079	12,445
販売費及び一般管理費	10,532	9,658
営業利益	5,547	2,786
営業外収益		
受取利息	380	371
受取配当金	982	937
持分法による投資利益	166	98
その他	294	430
営業外収益合計	1,823	1,837
営業外費用		
支払利息	500	370
手形売却損	5	4
その他	132	46
営業外費用合計	638	421
経常利益	6,732	4,203
特別利益		
固定資産売却益	3	1
投資有価証券売却益	14	6
関係会社株式売却益	117	—
特別利益合計	134	8
特別損失		
固定資産処分損	1	0
投資有価証券評価損	14	26
関係会社整理損	143	—
操業休止関連費用	—	115
その他	—	2
特別損失合計	160	144
税金等調整前四半期純利益	6,706	4,067
法人税、住民税及び事業税	1,647	1,476
法人税等調整額	△93	△169
法人税等合計	1,554	1,306
四半期純利益	5,152	2,760
非支配株主に帰属する四半期純利益	252	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,899	2,752

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自令和2年3月1日 至令和2年5月31日)
四半期純利益	5,152	2,760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,144	△2,607
繰延ヘッジ損益	△38	△23
為替換算調整勘定	△892	△708
退職給付に係る調整額	△162	△140
持分法適用会社に対する持分相当額	167	△498
その他の包括利益合計	△8,070	△3,978
四半期包括利益	△2,918	△1,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,112	△1,175
非支配株主に係る四半期包括利益	194	△42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成31年3月1日 至 令和元年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	97,084	46,846	76,486	13,842	234,260	—	234,260
セグメント間の内部売上高 又は振替高	267	747	293	356	1,665	△1,665	—
計	97,352	47,594	76,779	14,199	235,925	△1,665	234,260
セグメント利益	1,166	1,028	2,670	599	5,464	83	5,547

(注)1. セグメント利益の調整額83百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 令和2年3月1日 至 令和2年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	83,683	39,261	57,863	12,757	193,565	—	193,565
セグメント間の内部売上高 又は振替高	146	913	99	343	1,502	△1,502	—
計	83,829	40,174	57,963	13,101	195,068	△1,502	193,565
セグメント利益	405	619	1,020	560	2,606	180	2,786

(注)1. セグメント利益の調整額180百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。